

地域コミュニティを豊かにする商店街活性化事業 ～大学生と地域を商店街がつなげる協働事業～

地元の大学生と連携して、商品の展示販売を行うレンタルボックス事業、小学生を対象とした放課後遊び教室等を実施。イベントにも学生のアイデアや行動力を導入して人の流れを呼び戻し、商店街活性化につなげた。

所在地：島根県浜田市紺屋町81-3
TEL・FAX：0855-23-4352
URL：<http://www.konyamachi.com/>
組合員数：44名
商店街の種類：地域型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

紺屋町商店街は浜田駅から徒歩10分、約260mの市道の両側に衣料品やその他の小売り、飲食等地域に密着した店舗が並ぶ地域型商店街。“ひとにやさしく対話のある街”を目指して街づくりを行っているが、少子高齢化等で地域の担い手が少なくなっていることが課題となっている。そこで、近隣の島根県立大学の学生と連携し、地域コミュニティの強化と商店街の活性化のための事業を実施した。



こんやお茶の間キャラクター・こんちゃくん

実施した事業の概要

①レンタルボックス事業

紺屋町内のコミュニティスペース「こんやお茶の間」にて陳列棚をボックス単位で貸し出し、手作りの商品や、コレクション、古着などを受託販売した。商品の整理や接客等の運営は県立大学の学生に依頼。低予算で維持費もかけずマイ・ショップが持てること好評で、出店者や地域の人々が多数訪れたほか学生も集まり、街の賑わい創出に効果があった。

②放課後遊び教室事業

小学生の放課後の居場所づくりとして、コミュニティスペースを活用し、県立大学の学生の協力により、学習支援や、スポーツ等を通じた課外活動の支援を行った。子供を預けた親達が商店街を頻繁に訪れてくれるようになった。



③イベント事業

夏から秋にかけて、歩行者天国としてイベント等を行う「土曜夜市」、キャンドルを灯しコンサート等を行う「こんやまの月待ち」、子供向けイベントとフリーマーケットの「こんやまの秋まつり」等を開催し、島根県立大学生の大道芸や、キッズダンス、フラダンス、よさこいなどの踊り、ステージショー等で盛り上げた。また、秋まつりでは市内の幼稚園児の絵約600点の展示をした「未来のピカソ展」の表彰式を実施し、たくさんの家族連れで賑わった。



成果と成功の要因



今回の事業では、大学生の若さあふれるアイデアにより商店街に人の流れを呼び込むことができた。レンタルボックス事業は若者が商店街に足を運ぶきっかけとなり、放課後遊び教室事業は若いファミリーを呼び込み新たな活動のチャンスを生んだ。大学生には他にもイベントや、地域の様々な団体と連携した商店街発展や地域づくりのための各種事業や情報交換に協力してもらった。これによりまちづくり団体、地域ボランティア団体などと連携を深めることができただけでなく、次世代の人材育成につながり、新たに商店街の活性化や街づくり活動に関わり始める人も出てきている。

今後の取り組み

今後も、大学生や様々な地域団体と連携して「ひとにやさしく対話のある街」をテーマに各事業を継続して取り組む予定。各店舗が魅力向上に努めることで来街者を増やし商店街の活性化につなげると同時に、様々なイベントを通して地域との連携を強化し、助け合い、支えあう商店街を目指す。また、歴史と観光をテーマにした事業も企画。事業継続のための資金は、地域団体やNPOと連携することで負担を軽減するほか、レンタルボックス、放課後遊び教室は市民への情報発信を積極的に行い、出品者・利用者を増やすことで、人件費や運営費を捻出したいと考えている。